

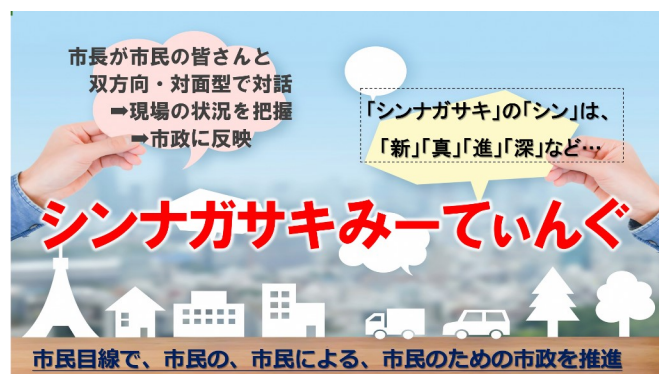
シンナガサキミーティング開催レポート

i n 矢上小学校区



令和6年4月17日（水）、自治会やまちづくり協議会、消防団、PTA、地元事業者など15人の皆さんにお集まりいただき、矢上小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、約2,000人が集まった矢上小学校150周年記念式典の取組みや、子育て支援、火災予防活動などそれぞれの立場で地域のために行っている活動、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



いただいたご意見

①防災行政無線について

防災行政無線が聞こえづらいという方がいるので、改善できないのか。

市の考え方
回答

防災行政無線が聞こえづらいという地区に対しては、いただいた意見を基に現地で音達調査を実施し、必要に応じてスピーカーの向きや音量の調整の修繕を行うとともに、防災メールや公式SNS、テレホンサービス等の代替手段の提案を継続して実施しています。

【放送内容を確認できるテレホンサービスの番号】

◆防災行政無線情報：050-5530-9908 ◆災害情報：050-5530-9909

また、防災行政無線の放送内容を聞くことができる戸別受信機の無償貸与もしています。

【戸別受信機 無償貸与の対象者】

自治会長、消防（副）団長、（副）分団長、民生委員・児童委員、

要介護者3～5、障がい者等級1級又は2級、難病者等

※希望されるかたには戸別受信機を有償配布しています

1台の購入金額：通常型19,250円、文字表示型34,100円

②スクールカウンセラーの配置について

スクールカウンセラーについて、児童生徒・保護者のニーズに対して十分な配置ができていないように感じる。

市の考え方
回答

スクールカウンセラー配置事業は長崎県の事業であり、本年度は29名のスクールカウンセラーが長崎市立全小・中学校に配置されています。令和5年度に「全校配置」が実現したものの、児童生徒を取り巻く問題は益々多様化・複雑化しており、スクールカウンセラーに対するニーズが高まる中、児童生徒・保護者の要望に十分応えられる配置時間が確保できていない学校があると認識しています。そのため本年度も長崎県に対し「配置時間のさらなる増加」を要望しているところです。

また、突発的な事故の発生など緊急時の対応については「長崎市スクールカウンセラー派遣事業」で対応するなど、学校・児童・保護者のニーズに柔軟に対応できる体制を整備しています。

③認知症高齢者等が行方不明になった場合の対応について

認知症高齢者等が行方不明になる事案が今後増えてくと思うが、市独自の対策はあるのか。

市の考え方
回答

行方不明者が発生した際、速やかに搜索を開始できるよう、相談先及び各種支援内容を提示した「認知症のひとり歩きにより行方不明になられたら」を作成し、普及啓発しています。（右のQRコード参照）

また、認知症による行方不明（徘徊）が心配な方の備えとして、徘徊高齢者等SOSネットワーク事業、みまもりあいプロジェクト、徘徊高齢者等家族支援事業により、住み慣れた地域で暮らし続けるための支援を行っています。



▲市ホームページ
「認知症のひとり
歩きにより行方
不明になられたら」

そのほか、「子育て世代への支援を充実させてほしい」、「自治会や消防団等の担い手が不足しているので、若い世代とシニア世代のコミュニケーションの場づくりが必要」、「東長崎は暮らしやすい、活気があるまちを上世代から子どもたちの世代に繋いでいきたい」などのご意見をいただきました。



鈴木市長のひと言

自治会や消防団などの担い手不足、子育て世帯への支援、道路のインフラ整備など、さまざまな課題について白熱した議論をいただき、ありがとうございました。
これから、地域をどう盛り上げていくかは、地域共通の課題だと感じています。
今後も、何かございましたら、気軽に総合事務所や地域センターにご相談ください。



参加者からの感想

いろいろな意見や市の対策を聞けて、ためになりました。

市長が対面して対話してくださり、「質問→返答」がその場で、話せる範囲で答えてくださったので、スピード感あってとても良かった。

首長ならではのスピーディーな決断、行動を期待します！応援しています。

それぞれが抱える問題を解決するためには、もっといろいろな考え方を知りたいと思いました。

